



岐阜県感染症発生動向調査週報

Gifu Infectious Diseases Weekly Report

令和2年5月22日 岐阜県感染症情報センター（岐阜県保健環境研究所）

2020年第20週
(5/11~5/17)

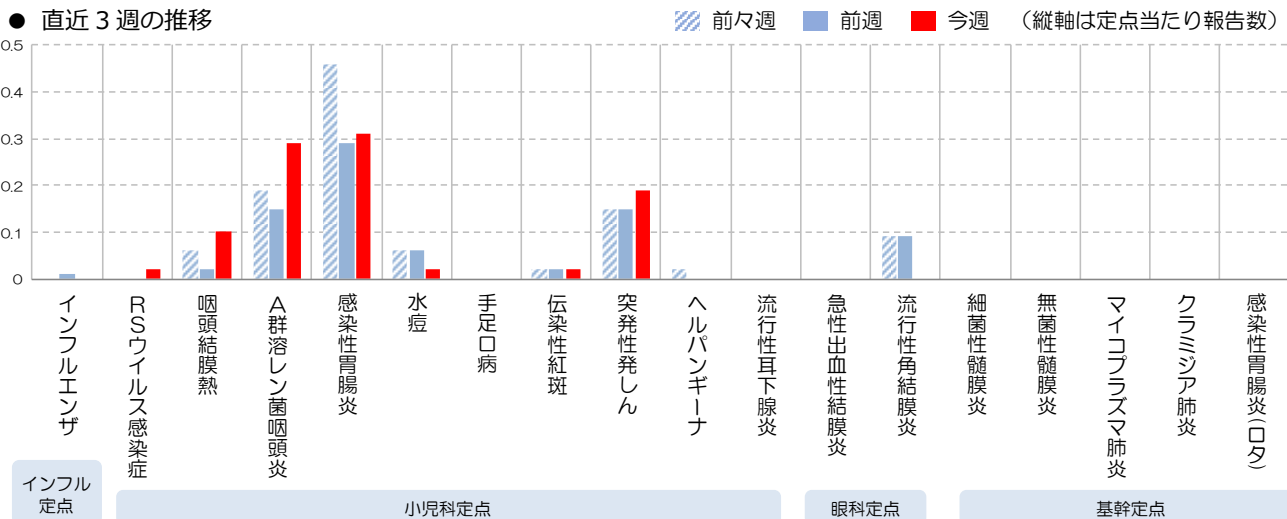
<情報編>

今週の主な動向

○5月2日以降、県内にて新たに新型コロナウイルス感染症患者は確認されていませんが（5月20日現在）、疑い事例等についてPCR検査は引き続き行われており、これまでの対策を一気に緩めることなく、密閉・密集・密接の条件を引き続き避けることが重要です（下記参照）。

定点把握対象疾患

<インフルエンザ定点：87か所、小児科定点：53か所、眼科定点：11か所、基幹定点：5か所>



全数把握対象疾患

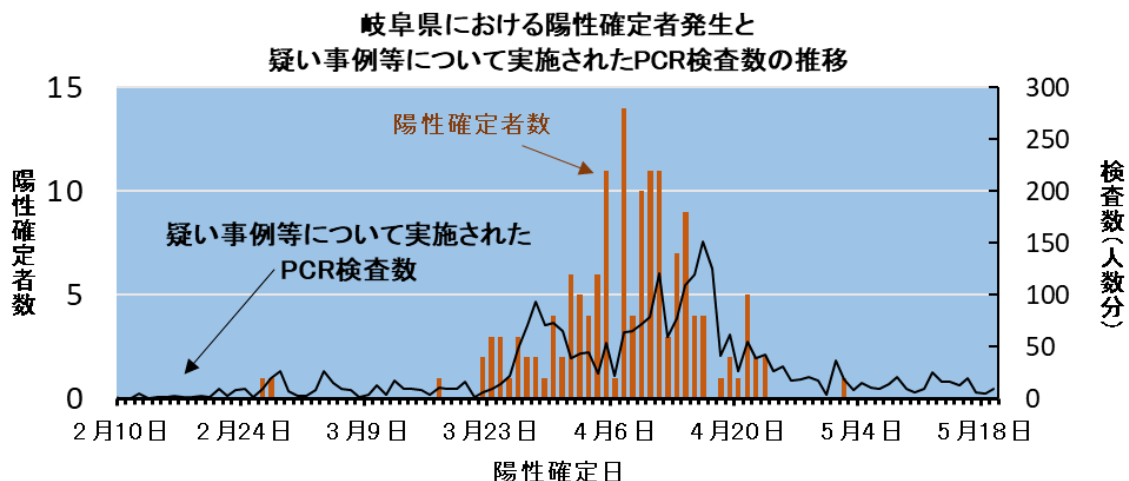
● 新規報告分

- 1 類感染症：なし
- 2 類感染症：結核 9 例
- 3 類感染症：なし
- 4 類感染症：なし

- 5 類感染症：カルバペネム耐性腸内細菌感染症 1 例、急性弛緩性麻痺 1 例、劇症型溶血性レンサ球菌感染症 1 例、梅毒 1 例
- 指定感染症：なし

トピック：新型コロナウイルス感染症

県内で確認された150症例の発生と、疑い事例等について実施されたPCR検査数の推移をグラフ化すると下記ようになります。（5月20日現在のデータによる）。



<情報編>

当該検査の実施数は4月中旬ピークに達し、その後陽性確定者の発生が減少した4月後半以降減少しました。しかし直近にて陽性確定者のあった5月2日以降も疑似症の検査は実施しており、感染が再燃する可能性が捨てきれない状態です。感染者数が少なくなったことで対策を一気に緩めると、これまでの努力が水泡に帰すおそれがあります。感染拡大の第2波を予防するため、引き続き県民のみなさまには日々の生活での感染防止対策に努めていただくことをお願いいたします。

(参考) 岐阜県 HP「新型コロナウイルス感染症【県内の感染動向】について」

https://www.pref.gifu.lg.jp/kinkyu-juyo-joho/shingata_corona_kansendoko.html

※ 感染予防と感染拡大防止のための対策として、手洗い、咳エチケットを徹底しましょう。発熱や咳などの症状がある場合は外出を控え、また日常においても不要不急の外出は控えましょう。

これまでのデータから、集団感染が起こりやすいのは以下の条件がそろった時との報告がされています。

1. 密閉空間（換気の悪い密閉空間である）
2. 密集場所（多くの人々が密集している）
3. 密接場面（互いに手を伸ばしたら届く距離での会話や発声が行われる）

このことから、感染のリスクを低減させるためには、これら3つの密が重なる条件（3密）を避けることが重要です。

※2020年5月4日、新型コロナウイルス感染症専門家会議からの提言を踏まえ、厚生労働省は感染拡大の第2波を予防しつつ日常生活を送るために取り入れていただきたい「新しい生活様式」の実践例を公表しました。（「新しい生活様式」について詳しくはこちらをご確認ください）

・「新型コロナウイルスを想定した「新しい生活様式」を公表しました（2020年5月4日）」厚生労働省

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000121431_newlifestyle.html